



2022年6月10日

各位

会社名 ブレイズテクノロジー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 齋藤 佐和子  
(コード：4075、東証グロース)  
問合せ先 取締役管理部長 河田 哲  
(TEL. 03-6455-7023)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年6月10日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年9月10日に開示した2022年7月期（2021年8月1日～2022年7月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（2021年8月1日～2022年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,162	百万円 233	百万円 231	百万円 156	円 銭 29.15
今回修正予想（B）	931	147	146	123	23.03
増減額（B－A）	△231	△86	△85	△33	-
増減率（％）	△19.9	△36.9	△36.8	△21.2	-
（参考）前期実績 （2021年7月期）	854	158	142	110	22.96

#### 2. 修正の理由

当社は、当事業年度において、顧客数増加によるソフトウェアライセンスの販売拡大と主力のソフトウェア製品の機能強化・サービス拡充に努めてまいりました。しかしながら、ソフトウェアライセンス数は堅調に増加したものの、当事業年度第3四半期に見込んでいた大型案件の買取ライセンス販売に遅延が生じ、商談リードタイムも想定よりも延びるケースが発生したため、当事業年度の売上寄与は見込めないこととなりました。また、ソフトウェア製品の新しいバージョン・リリースに伴いエンジニアリング負荷が発生し、導入作業の人員リソースが不足したため、第3四半期の売上が想定より減少しました。その結果、売上高につきましては、前回予想を19.9%下回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、人員体制強化により売上原価が増加する中、販売管理費の抑制により、想定よりも費用を大きく削減したものの、売上高の減少をカバーするには至らず、営業利益は36.9%、経常利益は36.8%、当期純利益は21.2%、それぞれ前回予想を下回る見込みです。

（注）上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上